

令和七年第三回薩摩川内市議会定例会 施政等の概要

令和七年第三回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、今月六日からの記録的な大雨は全国各地で河川の氾濫や住宅の浸水、土砂崩れのほか、道路や鉄道の交通網の寸断等をもたらし、県内においても霧島市や始良市などでは、広い範囲で浸水被害や断水が発生するなど、住民生活に甚大な影響が出ています。

本市においては八日からの大雨により、人的被害こそなかったものの、祁答院町黒木地区では河川の護岸決壊により、家屋の床上・床下浸水等の被害が発生し、翌九日の午後には私自ら現場に出向き、被災状況の視察を行いました。市内では、複数の箇所です砂崩れや道路の損壊等の被害が発生し、災害救助法の適用を受けるとともに、今月十八日、石破茂首相が激甚災害に指定するとの方針を明らかにされたところであり、現在、関係機関とも連携しながら復旧作業を進めております。

今月二十一日に最接近した台風十二号への対応につきまし

ては、鹿児島地方気象台が同日六時に本市の甑島圏域に土砂災害警戒情報を発表したことを受け、災害対策本部を設置するとともに、下甑地域に避難指示を発令しました。さらに、同日十二時三十五分には本土圏域に土砂災害警戒情報が発表されたことから、市内全域に避難指示を発令し、大雨による土砂災害や暴風等に対して厳重な警戒を続けたところであります。本市においては、寄田町と高江町において家屋の床上・床下浸水等の被害が発生しました。

これらの大雨等により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

先月三十日、ロシアのカムチャツカ半島沖で巨大地震が発生し、これを受け、同日午前九時四十分には気象庁から太平洋全域に津波注意報が発表され、本市においても防災行政無線での注意喚起や公共交通機関の運行状況等の情報収集を行うとともに、市が管理する施設の利用制限等を実施し、警戒体制をとったところであります。この警報は翌三十一日の午前十時四十五分には解除されましたが、今回の地震を踏まえ、日頃からの地震や津波への備えについて更なる周知を図るとともに、今後におきましても、いつ起こるか分からない災害への備えに万全を期すとともに、適時・的確な情報提供や防災体制の強化に努めて参ります。

先月九日、令和六年能登半島地震における本市の被災地域支援活動に対し、浅尾慶一郎環境大臣から感謝状が贈呈されました。この感謝状は、能登半島地震により甚大な被害を受けた石川県河北郡内灘町及び羽咋郡志賀町に対し、本市が職員派遣による人的支援を通して災害対応に尽力した実績を評価いただいたことによるもので、鹿児島県内においては県と本市を含む五市に贈呈されております。今後も、被災地支援をはじめとする広域的な相互連携・協力に積極的に取り組んで参ります。

先月二日から今月七日まで、市民と市長との対話の場として各地区コミュニティ協議会との共催により、令和コミュニティトークを市内六エリアで七回開催しました。それぞれの地区コミュニティ協議会の第五期地区振興計画に基づく取組状況や本年度の重点事業について報告いただき、活動状況を共有いたしました。その後、市政の動向に関する説明や事前提出議題に対する回答を行うとともに、フリートークにおいては出席された皆様から地域が抱えている課題や今後の地区コミュニティ協議会運営に関する御意見を伺い、有意義な機会となりました。引き続き、地区コミュニティ協議会の皆様と共に地域活性化、安全・安心な市民生活の実現に取り組んで参ります。

さて、本年度を始期とする薩摩川内スマイルアクション五〇の経済スマイル事業に位置付けた「五つの現場」につきまして、早期整備等に向けた取組を着実に推進しております。

重要港湾川内港に関して、川内港整備促進期成会により、先月七日に、九州地方整備局の酒井浩二副局长に対して、先月十六日には国土交通省の安部賢港湾局長に対して、「川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業の確実な暫定供用」及び「早期完成に向けた着実な整備推進」等を強く要望いたしました。

先月三十日には川内港におけるガントリークレーンの整備について、鹿児島県が北海道室蘭市との譲渡・移設の協議で合意に至ったとの発表をしました。これは本市が切望しているガントリークレーンの設置に向けた大きな一歩となるものであります。これまで要望に御支援いただいた市議会、民間企業・団体等の皆様、また、関係県議会議員、国会議員の皆様は心より御礼申し上げます。川内港におけるガントリークレーンの設置は、北薩地域のみならず、鹿児島県の産業、経済の持続的発展に大きく貢献するものであり、一日も早く実現されることを期待するとともに、引き続き、関係者の皆様と一体となって川内港の整備促進に取り組んで参ります。

加えて、今月一日には関西地方では初めてとなる、薩摩川内港ポートセミナーin関西を大阪市で開催いたしました。今回のポートセミナーでは、川内港の現状に加え、川内港臨海ゾーンの整備構想を説明するとともに、本市の企業誘致施策を紹介したほか、本市の立地企業であるサーキュラーパーク九州株式会社、春木優代表取締役、に御講演いただくなど、船社・商社・製造業・物流業等の関係企業の方々に、川内港の物流サービスや本市の産業戦略等について、強くアピールしたところであります。

また、今月二日には三年連続となる川内宮之城道路決起大会をSSプラザせんだいで開催し、約七百名の参加の下、道路整備による車両移動時間の短縮効果を報告するとともに、地元の熱い思いをアピールし、更なる気運醸成を図ったところであります。今後も、地域の皆様や関係市町の皆様と共に防災体制の強化、物流の効率化等による産業活動の発展のみならず、観光やスポーツ振興による交流人口拡大や地域活性化に寄与する広域交通網の整備を推進して参ります。

さらに、今月二十日には国・県事業の実施に関する要望活動において、特に川内港の唐浜埠頭が本年度末から暫定供用開始となることに関連し、塩田康一鹿児島県知事に対して下園政喜市議会議長と共に、港湾利用者から強い要望がある

唐浜埠頭への県の新たな上屋、リーフアーコンセント等の早期整備を重ねて強く要望したところであります。引き続き、川内港を利用する荷主、船社、荷役業者及び経済団体の皆様と一体となって、国・県に対して、早期整備及び港湾施設の充実を強く要望して参ります。

また、今月九日には薩摩川内スマイルアクション五〇の一つである「親子スマイルバスツアー」を行いました。このツアーは、本市の新たな産業創出の拠点となる「五つの現場」である川内港、サーキュラーパーク九州、川内港久見崎みらいゾーン、川内宮之城道路、高城産業用地を巡り、子どもたちがそれぞれの現場を楽しく学び、地域への関心を深めるとともに、将来の本市の産業について親子で考えることを目的として実施したものです。当日は午前・午後を通じて、合計四十三組、百一名の皆様に御参加いただき、笑顔あふれるツアーとなりました。今後も官民一体となり、「楽しく、笑顔がつながり、人が集うまちづくり（スマイルコミュニティ）」と、「人と経済が循環するまちづくり（サーキュラー都市）」の実現に取り組んで参ります。

今月一日、本市の立地企業である京セラ株式会社に対して、下園政喜市議会議長と共に、鹿児島川内工場約五千人の就業者の雇用の維持確保等の要望を京都本社で行いました。谷本

秀夫代表取締役社長から、鹿児島川内工場の雇用は維持し、規模を縮小する考えはないこと、また、第二十三工場についても供用開始に向けて具体的な準備を進めている旨の回答をいただきました。今後も、本市の雇用や経済好循環の創出に大きく寄与いただいている同社の動向等を注視して参ります。

本市へのデータセンターの進出に関して複数の動きがあることを報告いたします。これらの動きを踏まえ、具体的な調査の必要性を感じており、現在、庁内で検討を進めているところであります。

今月十一日から十七日までの七日間、バレーボール男子日本代表チームの合宿が行われ、期間中の十二日には歓迎式を開催し、また、十五日には、ロラン・テイリ監督、主将の石川祐希選手など十名が市役所を表敬訪問されました。世界を舞台に御活躍されるトップアスリートの皆様を本市にお迎えできたことは大きな喜びとともに誇りであり、心より歓迎の意を表すとともに、引き続き応援していくことをお伝えしました。

なお、合宿最終日の十七日には実戦形式の公開練習が行われ、会場は市内外から多くの観客で大いにぎわいました。

今回の合宿による成果を十分に発揮され、来月フィリピンで開催される二〇二五男子世界選手権において、優勝の栄冠を

勝ち取られることを市民の皆様と共に願っております。

また、今月二十一日から二十四日まで、第五十五回全国中学校バスケットボール大会がサンアリーナせんだいで開催されました。このように日本のトップチームの合宿や全国大会等が本市で行われ、これらの選手のプレーを間近で見ること、子どもたちに大きな憧れと夢を与え、また、競技力の向上と本市のスポーツ振興に大きく寄与するものであり、今後ともこれらの誘致等に積極的に取り組んで参ります。

今月一日、本市では初めてとなる特定外来生物のアライグマが東郷地域で捕獲されました。農作物被害のほか、希少な在来生物を捕食するなど生態系への被害も懸念されることから、鹿児島県の防除実施計画に基づき、県と連携しながら捕獲のための箱わなの設置や自動撮影カメラによるモニタリングを実施しております。

また、今月四日に下甕地域で確認されたミカンコミバエにつきましては、同月六日及び七日の二日間、国、鹿児島県及び本市が連携して、わなや誘殺板の設置、寄主果実調査、殺虫剤散布等の取組が現地で実施されました。今後も国の指導の下に、必要な対応を行って参ります。

さて、本年度は「第三次薩摩川内市総合計画（薩摩川内二〇三四ビジョン）」に基づくまちづくりのスタートの年であ

り、また、「薩摩川内スマイルアクション五〇」を力強く推進しております。このスマイルアクション五〇の社会スマイル事業に掲げたダイバーシティ社会形成推進事業として、多様性を尊重し、公平性が確保され、誰もが安心して参加できる包摂性のある社会づくりに向けて取り組んでおります。

年齢、性別、障害の有無、人種、国籍、文化的な背景等の違いにもかかわらず、すべての市民が公平に、その個性と能力を発揮する機会を得るとともに、お互いを尊重し合うことで、笑顔がつながり、安心して自分らしく暮らすことのできる「心豊かな暮らし（Well・Being）」の実現を目指し、あらゆる施策にダイバーシティ社会形成の視点を盛り込み、誰もが本市に住み続けたいくなるような多様性（ダイバーシティ）・公平性（エクイティ）・包摂性（インクルージョン）のある社会づくりを推進することを『薩摩川内市D E I宣言』としてここに宣言いたします。

この「薩摩川内市D E I宣言」に関連しまして、今後、薩摩川内市男女共同参画基本条例の改正を行うとともに、各個別計画への反映、事業展開を図って参ります。

次に、今回の補正予算案について御説明いたします。

今回の補正予算案は一般会計において、十九億一千六百二十六万七千円の増額補正を、五特別会計において、一億

六百十九万七千円の増額補正を、また、簡易水道事業会計、下水道事業会計に係る補正を提案したものであります。

一般会計につきましては歳出において、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るための保育所等への給食等の支援や畜産農家の経営の安定を図るための支援に要する経費を計上したほか、鳥獣被害対策や防災行政無線システム更新に係る経費を増額しております。

また、職員異動等に伴う給与費関係の調整を行うとともに、前年度繰越金の確定に伴う財政調整基金及び減債基金への法定積立の増額を行っております。

歳入においては補助事業等の内示等に伴う国・県支出金及び市債等を調整したほか、繰越金の増額などを行っております。

特別会計につきましても一般会計と同様に職員給与費関係の調整を行っているほか、国民健康保険直営診療施設勘定特別会計では、甑島の診療所における医療機器の整備に係る財源調整を行っております。

なお、今定例会においては補正予算案のほか、薩摩川内市地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定についてをはじめとする各議案について御審議をお願いしておりますが、会期中に令和六年度各会計決算に係る認定議案、

教育長の選任に係る議案等を追加提案させていただく予定で
ありますので、御了承を賜りたいと存じます。

提案いたしました各議案の細部につきましては、主管部・
課長から説明させますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りま
すようお願い申し上げます。